

施工要領書

(軽量盛土発泡設置工事)

工事名

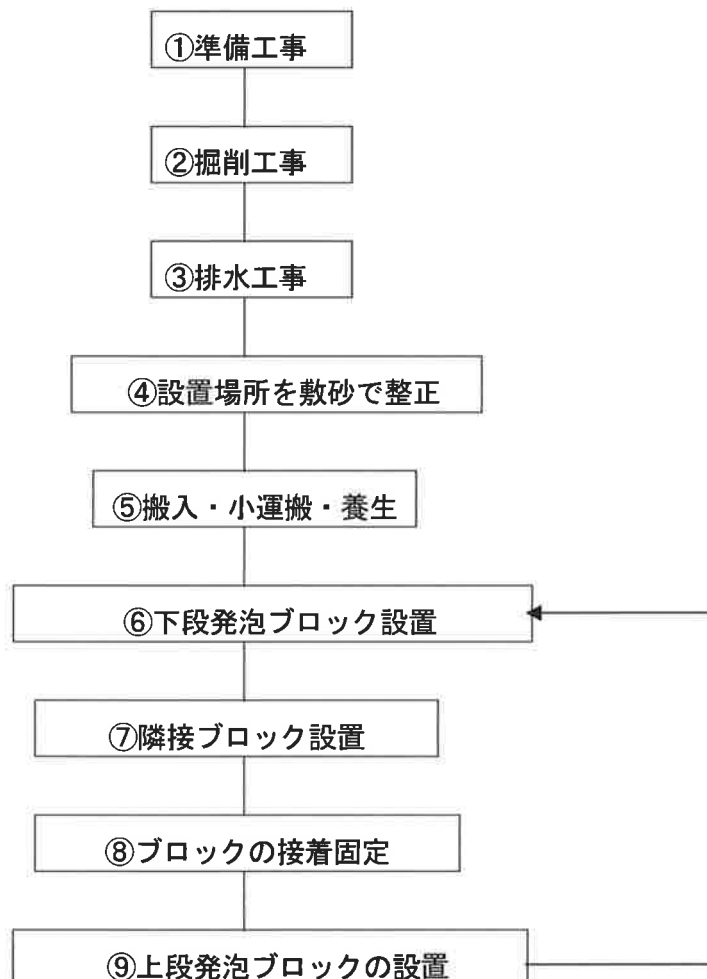
平成 年 月

ビルマテル株式会社

◎使用材料

エコロベースブロック

◎作業フロー



◎各フロートの説明

①準備工事

1. 工事準備測量
2. 工事用道路（場内、場外、迂回路）
3. 安全施設、仮設備、資材置き場

②掘削工事

軟弱地盤上の掘削

1. 掘削勾配は土のせん断強さと掘削の深さにより異なるが、鉛直又は2割勾配の範囲から現場の状況により決定する。
2. 掘削部に釜場等を設置するなど排水には十分注意しドライな状況で作業する。
釜場用の排水ポンプ等を用意し地下水、降雨、流入水などの水対策に注意する。（図-1参照）
3. 雨水が掘削部に流れ込まないように土嚢などで水が流れ込まないように処置をする。

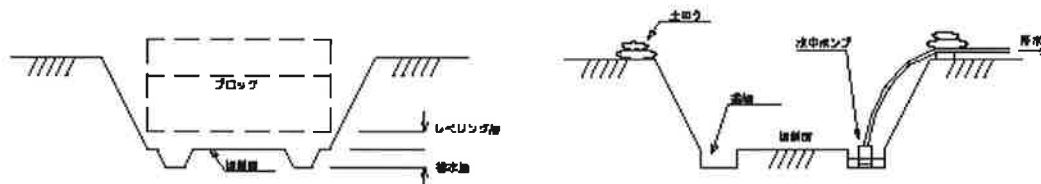


図-1 施工中の排水対策

傾斜地盤上の掘削

1. 斜面上の掘削は段切りを行い、発泡を斜面に食い込ませ滑動を防ぐようにする。（図-2参照）
2. 斜面が岩盤の場合は地形の状況により段切りの幅、高さを掘削勾配を考慮し調整する。
3. 段切りと発泡の境界部分は湧き水や浸透水の排水を考えた材料で埋め戻し十分に転圧する。湧き水が多い場合は排水用ジオテキスタイルを設置する。

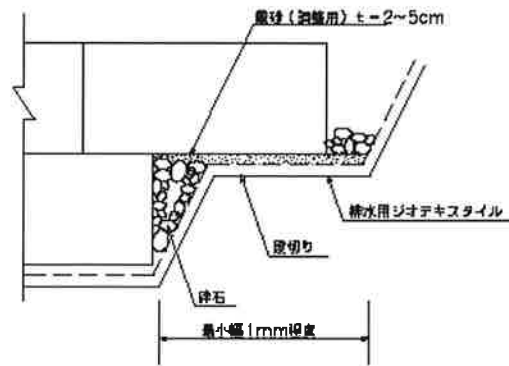


図-2 傾斜地盤の段切り

③排水工事

1. 地下水位の上昇を避け発泡部まで水位を上昇させない。
2. 流末処理に留意し浸透水、流入水を速やかに排水する。

④敷砂整正

1. 荷重分散を考慮しなければいけないケースは荷重配分に注意する。

⑤搬入・小運搬・養生

1. 発泡ブロック設置場所付近まで運搬車を誘導。（通常は大型ボディー車の4 t車）
2. 実際に設置する場所まで人力で小運搬する。

⑥下段発泡ブロック設置

1. 施工誤差は最下層のブロック設置精度に大きく左右されるため、特に段差が発生しないよう注意して施工する。
2. 発泡ブロックの最下層設置面は必ずドライな状態に保つ。
3. ブロックのがたつきを認めた場合は、砂等で微調整を行う。
4. 現場で加工する場合、スライラック（ニクロム線）を用いる。（写真1）

写真1



⑦隣接ブロック設置

1. ブロックは図面と見比べながら決まった形状を置く。

⑧ブロックの接着固定

1. 発泡ブロックの側面(2000x500)に2カ所程接着剤を点付けする。
2. 発泡ブロック上面(1000x2000)に6カ所程接着剤を点付けする。
3. 接着剤は1カ所につき200mm x 200mm程度塗る。

⑥上段発泡ブロックの設置

1. 第一層ブロックの目地と重ならないように設置する。(図-3参照)

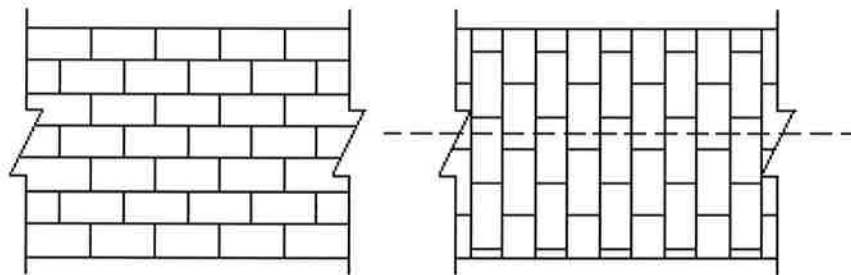


図-3 直線部の配置例

⑦その他注意事項

1. トラックその他の重機は直接ブロック上を走行させない。
2. 火気・石油類を近づけない。
3. 未完成箇所や仮置きする場合、風で飛散しないよう重し・ネット等で養生する。
4. 一週間以上紫外線に晒される場合はシート等で養生する。
5. 仮置きする場合、平滑な場所に置き雨水等が滞留しないようにしておく。